

Sustech と新日本空調、

「CARBONIX」と「EQ データグラス」のデータ連携による

カーボンニュートラル社会の実現に向けた協業を開始

2025 年 5 月 30 日

株式会社 Sustech

新日本空調株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：廣島雅則／以下、新日本空調）と株式会社 Sustech（東京都港区、代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎／以下 Sustech）は、本年 1 月に締結した資本業務提携契約に基づく取り組みの一環として、当社が開発・運営する脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」を新日本空調が開発・提供する建物・設備のエネルギー消費量把握・分析ツール「EQ データグラス」とデータ連携させ、両社が目指すカーボンニュートラル社会の実現に向けた協業を開始いたしました。



Sustech はサステナブルな社会の実現に向け、テクノロジーを活用して企業や社会が効率的に GX に取り組める仕組みを開発しており、真にインパクトのあるグリーンビジネスの実現を目指しています。具体的には、脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」や分散型電力運用プラットフォーム「ELIC」などの複数のプラットフォームを展開することにより、地域や社会の脱炭素化に向け、GHG 排出量の算定からカーボンクレジット活用までのソリューションを一気通貫で提供しています。

本取り組みでは、GHG 排出量の算定を効率化させることができる「CARBONIX」と建物・設備のエネルギー消費量の正確な把握から設備の運用状況が見える化し、省 CO2 に向けた高度なエネルギーマネジメントを実現するための設備運用データ見える化ツール「EQ データグラス」をデータ連携させることにより、商業施設や公共施設から工場や設備まで、あらゆる建物を所有・運用されるお客様に、GHG 排出量の効率的な可視化と、建物・設備の最適制御や運用見直しを支援することで、GHG 排出量削減に貢献して参ります。今後も両社の強みを活かした協業を推進し、カーボンニュートラル社会の実装に向けて取り組んで参ります。



■新日本空調について

新日本空調は、空調を中心とする建築設備のエンジニアリング企業です。長期経営方針である10年ビジョン「SNK Vision 2030」において「持続可能な地球環境の実現と、お客様資産の価値向上に向け、ナレッジとテクノロジーを活用するエンジニア集団を目指す」ことを基本方針に掲げ、建築設備の省エネルギーや温室効果ガス（GHG）排出の削減に注力しています。

■株式会社 Sustech について

Sustech は、2021年に創業し、「Design the New Era of Energy —エネルギーの新しい未来を描く。—」を経営ミッションに掲げ、革新的な分散型電力運用プラットフォーム「ELIC」や脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」など、カーボンニュートラル化を実現する包括的なソリューションを提供しています。Sustech は、テクノロジーを活用した、真にインパクトのあるグリーンビジネスの実現を目指します。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 Sustech

広報部

03-6722-6301